

第2学年 国語科学習指導案

平成26年6月11日（水）第5校時

1 単元名 「お話を読んで、かんそうを書こう」

教材名 「スイミー」

2 単元の目標

- ・人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、感想を書くことができる。
- ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書くことができる。
- ・書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。
- ・様子を表す言葉を使って、文を書くことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○書かれている事項の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読んでいる。 ○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。 ○文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。	○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付いて文や文章を読んでいる。 ○文の中における主語と述語との関係に注意して、文や文章を読んでいる。 ○話のおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付き、親しんでいる。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

「お話を読んでかんそうを書こう」を単元を貫く言語活動にすることで、各場面のスイミーの行動とその心情に焦点をあて、読み深める活動を大切にしたいと考えた。名前がある主人公や仲間との協力して困難を乗り越える物語の展開は、児童にとっても共感しやすく、想像して読み深めることに適した教材と言える。言葉や表現の巧みさにふれながら物語を味わう活動を通して、物語の世界を味わい、読むことの楽しさや読み広げていこうとする意欲を高めていきたいと考える。

(2) 教材文について

児童がこれまでに学習してきた物語には主人公に名前があるものはなかった。本作品は、主人公に名前がある初めての物語で、名前があることで主人公に寄り添いながら物語を読み進めることができるはずである。また、各場面でスイミーの行動に着目しやすく書かれており、スイミーの行動を通して場面の様子や物語の展開を押さえて読み進めることができる。更には、常体による表現や比喻、倒置法など豊かな表現が随所に見られるため、想像豊かに読み深め、感想を広げることができる教材と言える。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

(1) 4つの思考の型を取り入れた言語活動

(2) 「物語文を読む10の観点」の活用

(3) 音読の工夫

- ・三読法における読みの機会を設定した。あらすじをつかむための読み、思考を深めるための読み、学習によって深まった理解を表現するための読みの機会を設定した。

(4) 板書の工夫・学習環境の工夫

- ・ 学習の振り返りができるように、模造紙に書いて教室に掲示し、以前の学習内容を振り返ることができるようにする。
- ・ 本題材には、様々な海の生き物が多く登場するため、写真や状況を黒板に掲示して、児童が物語の様子を想像しやすいようにする。

(5) 発問の工夫

- ・ 児童が叙述から離れた想像を広げないように、焦点化した発問をする。

(6) ワークシートの工夫

- ・ 一単位時間ごとにワークシートを用意し、考える場面を限定することで、児童が課題に取り組みやすくなるようにした。また、サイドラインを引くための本文と自分の考えを書き込むスペースを一体化させることで、叙述に基づいて自分の考えがもてると考えた。

6 学習指導計画 (全9時間)

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	全文を読んで初発の感想を交流する。	○物語が5つの場面から構成されていることと中心人物がスイミーであることをとらえる。 ○心に残ったことを中心に感想を書く。	【関】物語を想像しながら、心に残ったことを感想に書いている。 (発表・ワークシート)
	2	物語の大体をつかむ。	物語のあらすじをとらえよう ○10の観点に基づき、物語の構成を捉える。	【読】物語のあらすじをつかみ、ワークにまとめている。(ワークシート)
2	3	第1場面から、楽しく暮らしていたスイミーの様子を読み取る。	楽しくくらすのスイミーのとくちょうをとらえよう (第一課題) ○スイミーの特徴が表れている所にサイドラインを引く。 【選択】 ・からす貝よりもまっくら。 ・およぐのはだれよりもはやい。 ・名前はスイミー (言葉の力) 常体で書かれる印象。	【読】スイミーの特徴、を読み取っている。 (発表・ワークシート)
	4	第2場面を読み、一人ぼっちになったスイミーの気持ちを読み取る。	一人ぼっちになったスイミーの気持ちを読みとろう ・まぐろにおそわれて、一人ぼっちになったスイミーの気持ちがわかる箇所にサイドラインを引く。【選択】 一人ぼっちになったスイミーの気持ちが一番あらわれているところ はどこだろう (第二課題) ・「こわかった。さびしかった。とてもかなしかった。」 【選択】 (言葉の力) 短文による言い回し。(前述と関係付けて) 分けることの語感の違いとスイミーの孤独さに気付く。	【読】最後の三文からスイミーの一人ぼっちになった悲しい気持ちを読み取っている。 (発表・ワークシート)
	5 (本時)	第3場面を読み、スイミーが元気を取り戻していく様子と心情の変化を読み取る。	スイミーが元気をとりもどしていったのはなぜだろう (第一課題) ・海にはすばらしいものがいっぱいあったことをとらえる。【選択】 ・○○みたいな△△ ・○○のような△△ 書き方のちがいをくらべよう (第二課題) ・にじ色のゼリーのようなくらげ ⇄くらげ【比較】 → 強調されていることを考え表現の良さに気付く。 (言葉の力) 比喩によりスイミーが感じた素晴らしさが強調されていることを知る	【読】比喩表現に着目して、スイミーが元気をとりもどしていく心情の変化を読み取っている。 (発表・ワークシート)

6	第4場面を読み、小さな魚のきょうだいを見つけ考えをふりしぼるスイミーの心情を読み取る。	<p>スイミーと小さな魚のきょうだいたちとの考え方のちがいを見つけよう (第一課題)</p> <p>・考え方のちがいが分かる所にサイドラインを引く。【比較】</p> <p>考えるスイミーの様子を比べよう (第二課題)</p> <p>・「考えた」に表される三つの文の修飾語の違いから、意味の違いをとらえる。</p> <p>・スイミーは考えた。 → 行動の事実。</p> <p>・いろいろ考えた。 → 方法</p> <p>・うんと考えた。 → 分かってもらおうとする必死な心情 (言葉の力) 三つの文の修飾語の違いから、意味の違いをとらえる。</p>	【読】「考えた」に表される三つの文から、考えをしぼるスイミーの気持ちを読み取っている。(発表・ワークシート)
	第5場面を読み、大きな魚を追い出したスイミーと仲間たちの気持ちを想像して読む。	<p>スイミーの行動を読み取ろう (第一課題)</p> <p>・スイミーの行動にサイドラインを引き、心情を想像する。【選択】</p> <p>大きな魚を追い出したスイミーの気持ちをとらえよう (第二課題)</p> <p>・あさの冷たい水の中をひるのかがやくひかりのなかを → 一日中泳ぎ追い出した事実 【類推】</p> <p>(言葉の力) 対比表現による情景描写から、大きな魚を追い出したスイミーの達成感を知る。</p>	【読】対比表現からスイミーと仲間たちが大きな魚を追い出したことを知り、スイミーたちの心情を読み取っている。(発表・ワークシート)
3 8 9	「スイミー」の学習を終えて、感じたことや考えたことをまとめ感想を書く。	<p>お話を読んで感想を書こう。</p> <p>・今までの学習を振り返り、好きな場面や表現を選び、感想に書く。</p> <p>・「〇〇〇なスイミーへ」という題名から、焦点化して感想に書く。</p> <p>感じたことを交流しよう</p> <p>・物語を読んでまとめた自分の感想をペアやグループで交流し、一人一人の感じ方の違いに気付く。</p>	【読】文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。

7 本時の指導 (5 / 10時)

(1) 本時の目標

- ・比喩表現に着目して、スイミーが元気を取りもどしていく心情の変化を読み取ることができる。

展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	<p>1 前時までの学習活動を振り返る。</p> <p>2 本時の課題を知る。</p> <p>スイミーが元気を取りもどしていったのはなぜだろう。(第一課題)</p>		
展開	<p>3 第三場面を音読する。</p> <p>起立して個人読みをする。読み終わった児童から座り、全員が読み終わるまで黙読する。</p> <p>(1) スイミーが見た「すばらしいもの」「おもしろいもの」にサイドラインを引く。</p> <p>T:スイミーが見たすばらしいものやおもしろいものにサイドラインを引きましょう。</p>	○スイミーが見つけたすばらしいものやおもしろいものにサイドラインを引かせる。	【読】読むべき叙述に気付きサイドラインを引くことができる。(ワークシート)

	<p style="text-align: center;">【選択】</p> <ul style="list-style-type: none"> • にじ色のゼリーのような<u>くらげ</u>。 • 水中ブルドーザーみたいな<u>いせえび</u> • ドロップみたいな岩から生えている、<u>こんぶ</u> <u>やわかめ</u> • <u>うなぎ</u> • 風にゆれるもも色のやしの木みたいな<u>いそ</u> <u>ぎんちゃく</u> <p>(2) 比喩のある表現とない表現の違いを聞く。</p> <p>・言葉の伝わり方の違いに気付く。【比較】</p> <p>T:このような生き物たちのおかげで、スイミーは元気になったのですね。では、今から先生が読み比べをします。どちらがいいと感じますか。(2通りの読み方で提示する)</p>	<p>○スイミーが見つけた海の生き物の写真を掲示する。</p>	
書きかたのちがいをくらべよう。(第二課題)			
	<p>T:どのように違うのか考えていきましょう。</p> <p>「くらげ」と「にじ色のゼリーのようなくらげ」 にじ色のゼリーのようなくらげ。 → おいしそう、<u>プニプニした感じ</u> 鮮やかな写真を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水中ブルドーザーみたいな<u>いせえび</u> → ブルドーザーのように <u>強そう</u> • ドロップみたいな岩から生えている、<u>こんぶ</u> <u>やわかめの林</u> → <u>きれいな感じ</u> • 風にゆれるもも色のやしの木みたいな<u>いそ</u> <u>ぎんちゃく</u> <p><言葉の力>「比喩」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ような」「みたいな」は、様子や特徴を詳しく表すためのたとえの表現であることを理解する。 	<p>○「ような」「みたい」は、たとえの表現であることをおさえ、何を伝えたい(強調したいか)気付かせる。</p>	<p>【読】表現の効果からスイミーが元気を取りもどしていく心情の変化を読み取っている。 (発表・ワークシート)</p>
まとめ	<p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返りながら、第三場面を音読(指名読み)する。 	<p>○スイミーの元気を取りもどしていく気持ち、美しい情景描写、表現にも目を向け、音読させる。</p>	